

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市黒松児童館	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》	
	・ 令和3年度 13,714人（前年度比 105.5%） ・ 令和2年度 13,000人 ・ 令和元年度 21,563人	
5 収支の状況	《事業》	
	・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	()は前年度決算額
6 利用者の声	《費用》	
	・ 指定管理者に支払った費用 27,070千円 (26,292千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
7 収支の状況	《収入》	
	・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
8 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	19/19

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>子どもたちが安心して楽しく遊べる場となるように、これまで以上に衛生面の配慮や環境整備に努めてまいりました。</p> <p>子育て家庭支援事業では、乳幼児親子を対象に、季節感あふれる行事の中で友だちとの交流ができるよう心がけました。特に0歳児親子は、児童館を初めて利用する方も多く、熱心に情報交換する姿が見られました。また地域の講師による「足育法」では、子どもの足の特徴や発達段階に応じた靴の選び方を学びました。児童館が直接的に健康づくりをお手伝いする機会となっており、参加者からも継続を期待する声があがっています。</p> <p>黒松市民センターと共催で実施した「くろリンピック」は、黒松小学校と八乙女小学校の児童を対象に、スリッパ飛ばしや紙飛行機、キャップ積みといった遊びを楽しみました。地域の子どもの交流の場、身近な物を工夫して遊ぶ情報発信の場、お土産のお手玉は自宅での親子遊びのきっかけ作りと様々な取り組みを進めることができました。</p> <p>また新たに実施した「楽しもう！あ・そ・び」では、気軽にできる運動遊びやテーブルゲーム等を紹介しました。遊びによるストレス発散のみならず、勝つうれしい気持ちと負けて悔しい気持ちをどう表現するかを学ぶ場でもあり、子どもたちの社会性を養う機会となっています。</p> <p>児童クラブは、毎日の帰りの会や子ども会議が、子どもたちの自主性や積極性を育む場として機能しています。三密を避けながら気軽に楽しく放課後を過ごすかを、学年を超えて意見を出す場となりました。子どもたちの自己肯定感を高める機会になるようにと新たに企画した「〇〇強化月間」や「つくっちゃOH!」では、スポーツ・昔遊び・ものづくり等様々な遊びを日常的に体験する場としました。今後も、直接頂くご意見やアンケートの結果を反映させた児童館運営を行い、地域に貢献できる児童館を目指してまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置などの発令があったが、児童クラブに関しては、年間を通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部休止していたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、地域の方を講師に招いて行われた「足育法」は人気の高いプログラムで参加者から好評を得ている。また、小学生対象の「楽しもう！あそび」はダンスや工作など異年齢による集団活動を通して、社会性や主体性を育てている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、コロナ禍で行き場に困っている0歳児親子の支援をねらいとし「くまっちー0パーク」を新設した。季節行事や制作など多彩なプログラムを提供し、参加者同士の情報交換・交流の場となっており参加者から好評を得ている。</p> <p>地域交流推進事業においては、市民センターと連携し「くろリンピック」が開催され、ペットボトル積みやスリッパ飛ばしなど、広い体育館ならではの遊びで競い合い、遊びへの意欲を引き出し、自信や自己肯定感を育てている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、近隣の危険箇所を確認しながらハザードマップ作りを行うなど、子どもが自ら危険回避できるような取り組みを行っている。また「子ども会議」では、日々の問題点から問題提起したり、遊びのルールを自分たちで考えて決めるなど子ども達が主体的に生活できるよう支援が行われていた。他にも児童クラブ通信を毎月発行するなど保護者に日々の様子を伝え、子どもの様子を共有している。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課